

# |座|談|会|

## 消化器外科手術における VTEとその予防対策の実際



【司会】**國崎 主税** 氏  
横浜市立大学附属  
市民総合医療センター  
消化器病センター 外科 教授



**馬場 秀夫** 氏  
熊本大学大学院  
消化器外科  
教授



**池田 正孝** 氏  
国立病院機構  
大阪医療センター  
外科 医長



**和嶋 直紀** 氏  
弘前大学  
医学部附属病院  
消化器外科 講師



**三木 明** 氏  
神戸市立医療センター  
中央市民病院  
外科 医長

肺血栓塞栓症 (PTE) と深部静脈血栓症 (DVT) を合わせた疾患概念である静脈血栓塞栓症 (VTE) は、外科手術の周術期にその発症リスクが高まる。ひとたび症候性PTEが発症すれば、患者の生命は大きな危険に晒されることから、その対策はいまや医療従事者にとって大きな課題となっている。欧米や日本のガイドラインでは、VTEリスクの層別化によりその対応策が定められているが、腹部外科手術は高リスクに分類され、術後の抗凝固療法が推奨される領域である。本座談会では、既にVTE予防策を講じ成果を上げている全国の消化器外科医の先生方にお集まりいただき、VTE予防対策の現状について幅広いディスカッションをお願いした。